



第2学期も終業の日を迎えました。振り返ると、子ども達は本当にたくさんの経験を積み重ねました。運動会では、仲間と同じ目標に向かって気持ちを一つにし、最後まで諦めずに走り切る姿がありました。生活発表会では、毎日の小さな努力をコツコツと続け、自分の役割に責任を持とうとする頼もしさがグンと育ちました。



園外保育や体験学習、そしてワクワクTIMEでは、「やってみたい!」「もっと知りたい!」という子ども達の目の輝きがあちらこちらに… 自然に触れ、新しいことに挑戦し、友達と一緒に考えたり工夫したりする中で、好奇心や発想力が大きく広がりました。

どんな場面でも支えになって下さったのは、保護者の皆さまの温かな眼差しです。子ども達の成長を後押しする大切な力になってくれました。心より感謝申し上げます。3学期も、子ども達と一緒に、また一歩ずつ歩んで行きたいと思います。どうぞ引き続き、温かく見守っていただければ幸いです。



明日から冬休み期間に入ります。

子ども達にとっては、ちょっぴり特別で、のんびりとした時間が流れる期間になります。これまでの幼稚園で積み重ねてきた生活習慣を途切れさせず、規則正しい生活習慣を心掛けていただけると、3学期のスタートがスムーズになります。

早寝・早起きのリズム… 夜更かしになりがちな冬休みですが、朝の光を浴びてスッと動き出せる生活リズムは、子ども達の心と体を元気にしてくれますよ(笑) バランスの良い食事や適度な運動も、冬に負けない体づくりに繋がります。本日配布した「冬休み生活カレンダー」を活用され“親子の小さな約束”にしてみてください。

北海道の冬だからこそ味わえる遊びも、子ども達の大切な体験になります。雪遊び、そり遊び、外の空気の冷たさ… 冬の自然に触れる時間は、想像力も体の力もぐっと育ててくれます。年末年始には、帰省や旅行で家族の時間が増えるご家庭も多いと思います。親子で一緒に過ごす何気ないひとときが、子ども達にとって大きな思い出と安心に繋がりますね(笑)

この冬休みが、ご家庭の温もりと子ども達の成長がたつぷりと詰まった時間になりますように… 3学期、また元気いっぱいの姿でお会いできることを楽しみにしています。



札幌白ゆり幼稚園 スタッフ一同

幼児期の「お手伝い」は“生きる力の土台作り”

冬休み生活カレンダーには、3つの「お手伝い」の目標を書く欄があります。これは単なる“家でのお仕事”ではなく、幼児期の子ども達の成長にとって大切な学びの機会です。

幼児期の「お手伝い」の経験が、なぜ子ども達の未来に繋がって行くのか…!?

幼児期のお手伝いは“やらされるもの”ではありません。本来は「やってみたい!」「自分にもできるかな?」という子どもの好奇心と意欲の延長にあります。たとえ時間がかかっても、上手にできなくても、子どもにとっては立派な挑戦なのです。

そして、その挑戦が成功した瞬間…「パパの役に立てた!」「ママが喜んでくれた!」という実感がお子さんを成長させる“魔法の栄養素”になるのです。

「自分の力で役に立てた!」という経験は、達成感・満足感・充実感に繋がり、さらに“次への挑戦”の意欲を生み出します。これは、幼児期に育つ“自立”と“自律(気持ちのコントロール)”の芽になります。

さらに「任された役割を最後までやり切る」経験を重ねることは“責任感”を育てる大切な機会にもなりますね。

幼い頃からお手伝いが“当たり前”の習慣になると、将来どんな力になるか…!?

生活の中で自然と「約束を守る!」「マナーを意識する!」「姿勢が育ちますよ!」

お手伝いとは、家庭という小さな社会の中で、役割を引き受け、他者との関わりの中で行う営みです。

決められたことを最後までやり遂げる習慣は、学校生活・友人関係・社会に出てからの仕事にも直結しますね。

さらにお手伝いは“人の役に立つ喜び”を知る最初の体験です。自分の行動が誰かを助け、誰かを喜ばせ、家庭の一員として認められる経験は、子ども達の心に“自己肯定感の芯”を作ります。

ただ褒められるだけでなく「自分の行動で周りが幸せになる!」という実感は、人生を切り開く大きな力になります。

お手伝いは、思考力や段取り力も育てます。「どうやったら早くできるかな?」「こぼさないようにするには?」と、子どもなりに考え、工夫し、次に活かしていく力が自然と身に付きます。これはまさに“生きる力”の基礎ですね。

冬休みは親子でじっくり向き合える時間が増える大切な機会です。3つの「お手伝いの目標」をお子さんと一緒に話し合いながら決めてみてください。

「これはできそう?」「どんなことを頑張ってみよう?」 そんな会話そのものが、親子の信頼関係を深め、お子さんの意欲を引き出すきっかけになりますよ。

大切なのは“挑戦した事実”と“続けようとする姿勢”です。親子で「今日もできたね!」と笑い合えるだけで十分です。

幼児期のお手伝いは、単なる家事の手伝いではありません。自信・責任感。自律心・思いやり… お子さんが未来を生きる上で欠かせない力を育てる大切な学びの場です。

この冬休みが、親子で豊かな時間を重ねる機会になることを願っています(笑)